



論文誌ジャーナル掲載論文リスト Vol.55 No.3 (Mar. 2014)

【特集：オーバーレイを考慮したインターネットと運用技術】

- 特集「オーバーレイを考慮したインターネットと運用技術」の編集にあたって 佐藤 聡
- 秘密分散法を利用したクラウドストレージサービスにおけるモバイル機器を考慮した安全な処理委託方式 吉田耕太 他
- 暗号文ポリシー属性ベース暗号を利用したファイル名暗号化ファイル共有サービスの実装と性能評価 大東俊博 他
- A Flexible Execution Control Method of Application Software for Educational Windows PCs Keita Kawano 他
- 広域分散仮想化環境のための分散ストレージシステムの提案と評価 柏崎礼生 他
- レイヤ3スイッチによる動的ホワイトリストを用いた電子メール優先配送システム ガーダ 他

【一般論文】

- 集団 AHP における一対比較行列推定法の提案 † 坂巻英一
- Evaluation of Physical Unclonable Functions for 28-nm Process Field-Programmable Gate Arrays* Yohei Hori 他

- FPGA を用いた BLAST アルゴリズムの高速化* 石川 淑 他
- 多数決投票を用いた分散システムの可用性の最大化* 松井佑記 他
- Bloom Filter Bootstrap : Privacy-Preserving Estimation of the Size of an Intersection* Hiroaki Kikuchi 他
- クラウドコンピューティング環境での認証連携における動的属性利用技術の提案と評価 下道高志 他
- 音声中の任意検索語検出のための未知語区間推定に基づく選択的インデックス統合法 神田直之 他
- HMM-Based Probabilistic Flick Keyboard Adaptable to Individual User Toshiyuki Hagiya 他
- タッチパネルボタンの階層構造が連続ボタン押しの効率に与える影響 森田ひろみ 他
- VocaWatcher : ユーザ歌唱の顔表情を真似るヒューマノイドロボットの顔動作生成システム 中野倫靖 他

* : 推薦論文 Recommended Paper

† : テクニカルノート Technical Note



論文誌トランザクション掲載論文リスト (Mar. 2014)

【Transactions on Computer Vision and Applications Vol.6】

- Tree-structured Mesoscopic Surface Characterization for Kinematic Structure Tomoyuki Mukasa 他

【論文誌 コンピューティングシステム Vol.7 No.1】

- サポートベクタマシンを用いた WAF への異常検知機能の実装と評価 伊波 靖 他
- Screening Legitimate and Fake/Crude Antivirus Software 糟谷正樹 他
- Android OS における状態変化通知による通信集中の削減手法 川崎仁嗣 他
- AspectJ を用いた Fault-Injection による Hadoop MapReduce の耐故障処理に関する性能評価 中川洋介 他
- LSI 論理シミュレーションにおける SIMD 並列化手法の提案 甲斐夏季 他
- レゾルベントの線形結合をフィルタに用いた エルミート定値一般固有値問題のフィルタ対角化法 村上 弘

【論文誌 データベース Vol.7 No.1】

- 語の認知度と語間の関係の非典型度に基づく Wikipedia からの意外な情報の発見 佃 矢撰 他

【論文誌 数理モデル化と応用 Vol.7 No.1】

- 複製対象の解の特性を考慮した分布交換 EDA によるロングショートポートフォリオのレプリケーション 折登由希子 他
- Sparse Estimation of Spike-Triggered Average Shimpei Yotsukura 他
- ユーザシステム協調型進化計算を用いたアバター作成支援システムの提案 渡邊真也 他
- 統計的文法獲得モデルのための擬似部分木ブロック化サンプリング法 進藤裕之 他
- 需要家の特性を考慮した不確実性下のネガワット計画 大槻知史
- Twitter におけるユーザの興味と話題の時間発展を考慮したオンライン学習可能なトピックモデルの提案 佐々木謙太郎 他
- 株式流動性指標の日銀短観に対するレジームスイッチングモデルを用いた説明力 西田拓実 他
- 非負制約下における複合行列分解とそのソーシャルメディア解析への応用 竹内 孝 他
- 量子アルゴリズムで用いられる Span Program の進化計算による導出 佐多恵悟 他
- 予測交通量に基づくアントコロニー最適化法による時間依存 TSP の解法と広域道路網への適用 落合純一 他



CONTENTS

Preface

Connection Technology to The World
Ai SUGIYAMA

Special Features

Education and College Entrance Examination for Information Study Subject

314 0. Foreword

Katsuhiko KAKEHI (Waseda Univ.)

316 1. Roles the Subject 'Information' should Play in the Upper Secondary Education Curriculum

Katsunori NAGAI (Ministry of Education, Culture, Sports, Science and Technology)

321 2. New Scientific Approach of Education - Interdisciplinary Perspective of Information Studies Education -

Shinichi MATSUBARA (Shiga Univ.)

325 3. Scientific Understanding of Information in New Course of Study

Yoshiaki NAKANO (Kobe Municipal High School of Science and Technology)

330 4. Current Status and Issues of the Professional Course for Informatics and Specialized Subjects of Informatics

Takafumi NAMEKAWA (Chiba Prefectural Kashiwanoha Senior High School)

335 5. Recent Information Studies in High Schools in the United States - Especially in California -

Yasushi KODAMA (Univ. of California, Berkeley / Hosei Univ.)

340 6. Informatics Education of Korea - Cooperation between the Government and Companies for Informatization and HRD in ICT

Hiroyuki AOKI (eText Lab Inc.) and Hansung KIM (Korea Education and Research Information Service (KERIS))

344 7. Universities' Informatics Education as Liberal Arts - Pre-research Report by IPSJ General Education Committee

Ben Tsutom WADA (Nagano Univ.)

348 8. Curriculum Reform for Information Education in Hiroshima University

Tomohiro INAGAKI (Hiroshima Univ.)

352 9. "Information Study" as A Subject in University Entrance Examination

Yasushi KUNO (Univ. of Tsukuba)

356 10. The First Japan Nation Wide College Entrance Trial Examination for Information Study Subject : Problem Set and Experiences

Takuya SAKUMA (Bunkyo Univ.) and Takeo TATSUMI (Waseda Univ.)

363 11. Objectives of Entrance Examination in Information Science for Faculties of Social Studies

Koji YAMAZAKI (Meiji Univ.)

366 12. University Entrance Examination Focusing on Information and Computer for Global Society Interdisciplinary Studies

Jun MURAI, Takashi HATTORI and Keisuke UEHARA (Keio Univ.)

Special Features

372 Annual Topics of Special Interest Groups of IPSJ

Articles

394 Challenge to Exascale Computing

Yoshio OYANAGI (Kobe Univ.)

Senior Column : Messages on Favorite IT

371 Walking with the Internet

Yoshimi TESHIGAWARA (Tokyo Denki Univ.)

Series : Pilgrimage to Vintage Computers / Trail Blazers' Recollections of 0's and 1's

402 Oral History : Interview with Dr. Sakai Toshiyuki

Hiroharu ASAHII (Hitachi, Ltd.), Chigusa KITA (Kansai Univ.) and Akihiko YAMADA (National Museum of Nature and Science)

410 Biblio Talk

413 Mourning

415 Mourning



読後のご意見をお送りください

本誌では、現在約 100 名の方々に毎号のモニタをお願いしておりますが、より多くの読者の皆さんからのご意見、ご提案をおうかがいし、誌面の充実に役立てていきたいと考えておりますので、毎号巻末に掲載しております所定の用紙または Web ページ (<http://www.ipsj.or.jp/magazine/enquete.html>) をお使いいただき、奮って事務局までお寄せください。

一般社団法人 情報処理学会 会誌編集部門

〒 101-0062 東京都千代田区神田駿河台 1-5 化学会館 4F E-mail: editj@ipsj.or.jp Fax(03)3518-8371

IPSJ メールニュースへ広告を出しませんか？

広告を IPSJ メールニュースで配信しています。本会会員が主な読者なので、ターゲットを絞った広告に最適です。

- 配 信 数：約 25,000 通（原則毎週月曜日配信）
- 読 者 層：本会会員および非会員
- 形 式：テキストのみ。等幅半角 70 字 × 5 行。URL を入れてください。
- 掲載位置：ヘッダ（目次の上）
フッタ（本文の最下行）
- 掲 載 料：ヘッダ：1 回 52,500 円（税込）※3 社限定
フッタ：1 回 21,000 円（税込）
※それぞれ行数超過については別途相談
- 申 込 先：[広告代理店]
アドコム・メディア（株）E-mail: sales@adcom-media.co.jp
〒169-0073 東京都新宿区百人町 2-21-27 Tel(03)3367-0571 Fax(03)3368-1519
または、情報処理学会 会誌編集部門 E-mail: editj@ipsj.or.jp Tel(03)3518-8371
- 申込締切：毎週水曜日締切、翌週月曜日配信となります。
- 見 本：

— [広告] —
■■■■ ○○セミナー ■■■■
開催日時：1 月 10 日（火）・11 日（水）・12 日（木）13：00～17：00
会場：○○コンベンションセンター
会費：情報処理学会会員の方には割引があります。
詳細はこちらをご覧ください：<http://www.....com/>
— [広告] —



CAMPAIGN OF JIP FOR FREE PUBLICATION CHARGE

Journal of Information Processing

The Editorial Committee of the Journal of Information Processing (JIP) is very pleased to announce of the campaign of free publication. The publication fee is not charged for the accepted papers submitted by July 31 2015 regardless of authors' membership. It would be grateful if you could take this opportunity and submit your papers to the flagship international journal, JIP.

JIP (Journal of Information Processing) に採択された英文論文の掲載料を無料にするキャンペーンを行っています。

対象は 2015 年 7 月 31 日までに投稿された英文論文です。これは、非会員による投稿論文にも適用されます。

このキャンペーンを利用して、ぜひ多くの英文論文をご投稿ください。 <http://www.ipsj.or.jp/english/jip/submit/prms.html>

情報処理学会 論文誌ジャーナル、JIP (Journal of Information Processing) では、随時、一般論文・テクニカルノートの投稿受付をいたしております。また、特集号の論文募集も数多くいたしておりますので、ぜひ学会 Web ページの最新情報をご覧ください。

<http://www.ipsj.or.jp/journal/index.html>, <http://www.ipsj.or.jp/english/jip/index.html>

Journal of Information Processing (JIP) は、インターネット上のオンライン媒体 J-STAGE にて季刊発行しています。

<http://www.jstage.jst.go.jp/browse/ipsjip/>

Contact to Technical Activity Section, Information Processing Society of Japan (IPSJ) E-mail: editj@ipsj.or.jp

会員の広場

Member's Voice

今月の会員の広場では、1月号へのご意見・ご感想を紹介いたします。まず、巻頭コラム「これからの青春」については、以下のようなご意見・ご感想をいただきました。

■いろいろな意味で元気づけられました。(石井一夫)

特集「システムとソフトウェアの品質」については、以下のようなご意見・ご感想をいただきました。

■よく整理されているものの、その内容はPDCAやV字型が基本となっているようで、20年以上前、メインフレームのシステムを作っていたときからあまり変わっていないように思います。今の時代、大企業が仕事をとり、無数にあるソフト会社に下請けし、かつスピードが求められる現状では、項目だけ掲げてもうまくいきません。現状に即して品質を上げるにはどうしたらよいか、という点にまで掘り下げてほしかったと思います。(遠藤佳宏)

■ソフトウェアの社会へのかかわりと及ぼす影響が大きくなってきており、品質への要求が従来の域を越えて多面的なものに変質しつつあるように感じます。機能的な要求だけでなく、その実現方法や広い意味での顧客の満足を得る潜在的な品質上の要求にも焦点を当てて検証していくアプローチが必要になってきているように思います。(匿名希望)

■品質ということでシステム開発に携わる我々にとって有用な内容でした。定期的に今回のようなシステム開発に近いテーマの特集を企画してもらえるとありがたい。(匿名希望)

■専門家ではなく身近な話なので頑張っただけで学ぼうとしているが、まったく実践に活かせず徒労感がある。ソフトウェアを作って設計や品質を良くしようと工学的に挑んでいたはずなのに、ユーザの慣習や事務のしくみ、手続きそのもの、市場での立ち位置、法律などに出くわし、何をしているのかが分からなくなり呆然となる。成功体験や事例などがあればよいのだが。(匿名希望)

■会社の研究開発を通し、テスト駆動開発など品質を保つ取り組みをしているが、品質評価についてはあいまいなままであった。非常に参考になった。(佐伯嘉康)

■ソフトウェアがあらゆる場面で使われることを考えると、標準的な品質検査の中に、日本の高齢化社会も見据えた、ユニバーサルデザインは考慮されているのだろうかと思った。(匿名希望)

■品質保証というと、テストやレビュー技術を思いつきやすいですが、今回の特集は品質モデルや国際規格という違った観点から詳述していたので、新たに得られた知識も多く、よかったです。ただ、テストやレビュー技術のサーベイにも興味があるので、それらについても、読んでみたいと思いました。(匿名希望)

「4. システムおよびソフトウェアの品質評価」

■標準化の紹介だけでなく、具体的かつ、実行して効果のありそうな事例を、分かりやすく紹介していたところがよかったです。(匿名希望)

「5. ソフトウェア非機能要求の定義」

■問題提起として良いと思います。(遠藤佳宏)

連載「鉄道の運行システムにおける情報処理技術の動向：鉄道の運行計画作成の高度化に向けて」については、以下のようなご意見・ご感想をいただきました。

■「どこかにブレイクスルーがあったら一気に自動化へと行ける」感じがしない。現実の問題の難しさを強く感じる。(匿名希望)

■結局「考えることが多すぎてどうしようもない」という素人の直感通りのことが問題になっているのだと理解しました。たとえば適度なサイズの線路が独立した（それでも乗り継ぎ待ちの問題はありますが）私鉄とか、鉄道よりは制約が少なそうなバス運行あたりから自動化を目指すということはできないのだろうかと思いました。それともすでに行われているのでしょうか。(匿名希望)

連載「古機巡礼 / 二進伝心：オーラルヒストリー：山田博氏インタビュー」については、以下のようなご意見・ご感想をいただきました。

■過去の歴史について貴重な意見を知ることができるコーナーは、とても良いと思います。(匿名希望)

■意味がない。(匿名希望)

■他と比較して関心が低かった。(石井一夫)

教育コーナー「ぺた語義：PBL Summit」については、以下のようなご意見・ご感想をいただきました。

■学生は社会のニーズに合った成長をすべきなのでしょうか。PBLを教育手法と言われたり学習手法と言われたりして混乱します。(千葉一博)

教育コーナー「ぺた語義：情報システムの源流で求められる人材」については、以下のようなご意見・ご感想をいただきました。

■私たちが日頃感じている問題意識が具体的に整理されており、非常に参考になった。(匿名希望)

■内容が良い。(匿名希望)

会誌の内容や今後取り上げてほしいテーマに関して、以下のようなご意見やご要望をお寄せいただきました。今後の参考にいたします。

■学会誌の目指す方向として新しい表紙や巻頭コラムからできるだけ広い分野の読者に情報処理というものを分かってほしいという意気込みが感じられる。一方特集については、背景や問題点の説明が不足しているかつ抽象的だったため非専門家には分かりにくかった。

表紙・巻頭コラムと特集では目指す方向が違っていて編集長が2人いるような感じを受ける。(匿名希望)

■毎号楽しみにしております。自分が理解できない専門分野の記事も多くあり、時間が取れずに深く読めないのが残念です。(山本直樹)

■電子版の発行を強く希望します。(匿名希望)

■ウォーターフォール型中心のアプローチばかりだがそれで良いのか？(匿名希望)

■医学とICTについてもっと取り上げてほしい。(匿名希望)



【本欄担当 高橋ひとみ, 岸本頼紀/会員サービス分野】

これらのコメントは Web 版会員の広場「読者からの声」< URL : <http://www.ipsj.or.jp/magazine/dokusha.html> > にも掲載しています。Web 版では、紙面の制限などのため掲載できなかったコメントも掲載していますので、ぜひ、こちらをご参照ください。会誌や掲載記事に関するご意見・ご感想は学会 Web ページでも受け付けております。今後もよりよい会誌を作るため、ぜひ皆様のお声をお寄せください。

皆様にとって会誌をより役立つものとするため、

- ・記事に対する感想, 意見
- ・記事テーマの提案
- ・会誌または学会に対する全般的な意見, 提言
- ・その他, 情報処理技術についての全般的な意見, 提言

など自由なご意見, ご感想をお待ちしております。

なお、「道しるべ」については

<URL : <http://www.ipsj.or.jp/magazine/sippitsu/michishirube.html>> で

これからのテーマ案を募集しており、いただいたご意見をまとめております。

※ ご意見, ご感想を会誌に掲載させていただいた方には薄謝または記念品を進呈いたします。

掲載に際しては、編集の都合上、ご意見に手を加えさせていただくことがありますので、あらかじめご了承ください。なお、意見の投稿に伴う、住所、氏名、所属などの個人情報については、学会のプライバシーポリシーに準じて取り扱いたします。

<URL : <http://www.ipsj.or.jp/privacypolicy.html>>

応募先 〒101-0062 東京都千代田区神田駿河台1-5 化学会館4F

情報処理学会 会誌編集部門

E-mail : editj@ipsj.or.jp Fax (03) 3518-8375

<http://www.ipsj.or.jp/magazine/enquete.html>

ご意見をお寄せ
ください!



IP SJ カレンダー

開催日	名 称	論文等応募締切日	参加締切日	開催地
	東海支部平成25年度学生論文奨励賞募集 http://www.ipsj-tokai.jp/	3月15日(土)		
	論文誌「洗練された社会を作り上げるモバイル通信と高度交通システム」特集への論文募集 http://www.ipsj.or.jp/journal/cfp/15-C.html	3月31日(月)		
	論文誌「新しい時代に向けて英知を結集するコラボレーション技術とネットワークサービス」特集への論文募集 http://www.ipsj.or.jp/journal/cfp/15-E.html	4月1日(火)		
	論文誌「ユビキタスコンピューティングシステム (IV)」特集への論文募集 http://www.ipsj.or.jp/journal/cfp/15-F.html	4月25日(金)		
	論文誌「組込みシステム工学」特集への論文募集 http://www.ipsj.or.jp/journal/cfp/15-K.html	5月6日(火)		
	「プライバシーフレンドリーシステム」特集への論文募集 http://www.ipsj.or.jp/dp/cfp/dp0601s.html	5月7日(水)		
	論文誌「ネットワークサービスと分散処理」特集への論文募集 http://www.ipsj.or.jp/journal/cfp/15-D.html	5月8日(木)		
	論文誌「ソフトウェア工学」特集への論文募集 http://www.ipsj.or.jp/journal/cfp/15-H.html	5月12日(月)		
	論文誌「新しい社会を創る情報システム」特集への論文募集 http://www.ipsj.or.jp/journal/cfp/15-M.html	8月11日(月)		
3月13日(木)～ 3月15日(土)	第157回ヒューマンコンピュータインタラクション・ 第91回グループウェアとネットワークサービス・ 第31回エンタテインメントコンピューティング合同研究発表会 http://www.ipsj.or.jp/kenkyukai/event/hci157gn91ec31.html	1月24日(金)	当日のみ	明治大学 中野キャンパス
3月14日(金)	東海支部主催講演会「音声・画像処理の共通点と統合・ 変換処理について」 http://www.ipsj-tokai.jp/		参加無料	豊橋市民センター (カリオンビル)
3月14日(金)	第175回知能システム研究発表会 http://www.ipsj.or.jp/kenkyukai/event/ics175.html	2月3日(月)	当日のみ	名古屋工業大学
3月14日(金)～ 3月15日(土)	第70回モバイルコンピューティングとユビキタス通信・ 第41回ユビキタスコンピューティングシステム合同研究発表会 http://www.ipsj.or.jp/kenkyukai/event/mbl70ubi41.html	1月14日(火)	当日のみ	慶應義塾大学 日吉キャンパス独立館
3月14日(金)～ 3月15日(土)	第124回コンピュータと教育研究発表会 http://www.ipsj.or.jp/kenkyukai/event/ce124.html	1月23日(木)	当日のみ	東京学芸大学
3月15日(土)～ 3月16日(日)	第165回システムLSI設計技術・ 第32回組込みシステム合同研究発表会 (ETNET2014) http://www.ipsj.or.jp/kenkyukai/event/sldm165emb32.html	1月13日(月)	当日のみ	ICT文化ホール
3月17日(月)	第31回ゲーム情報学研究発表会 http://www.ipsj.or.jp/kenkyukai/event/gi31.html	1月20日(月)	当日のみ	東京工科大学
3月17日(月)	第127回情報システムと社会環境研究発表会 http://www.ipsj.or.jp/kenkyukai/event/is127.html	1月25日(土)	当日のみ	法政大学 市ヶ谷キャンパス
3月17日(月)～ 3月18日(火)	第98回プログラミング研究発表会 http://www.ipsj.or.jp/kenkyukai/event/pro98.html	1月14日(火)	当日のみ	東京大学
3月19日(水)～ 3月20日(木)	第183回ソフトウェア工学研究発表会 http://www.ipsj.or.jp/kenkyukai/event/se183.html	1月29日(水)	当日のみ	化学会館 会議室
3月27日(木)～ 3月28日(金)	第8回セキュリティ心理学とトラスト研究発表会 http://www.ipsj.or.jp/kenkyukai/event/spt8.html	1月17日(金)	当日のみ	名桜大学 (沖縄県名護市)
3月29日(土)	第114回情報基礎とアクセス技術・ 第93回デジタルドキュメント合同研究発表会 http://www.ipsj.or.jp/kenkyukai/event/ifat114dd93.html	2月20日(木)	当日のみ	産業総合研究所 (臨海副都心センター)
5月15日(木)～ 5月16日(金)	第159回マルチメディア通信と分散処理・ 第71回モバイルコンピューティングとユビキタス 通信合同研究発表会 http://www.ipsj.or.jp/kenkyukai/event/dps159mbl71.html	3月14日(金)	当日のみ	健康文化村 カルチャーリゾート フェストーネ
5月15日(木)～ 5月16日(金)	第192回コンピュータビジョンとイメージメディア研究発表会 http://www.ipsj.or.jp/kenkyukai/event/cvim192.html	3月20日(木)	当日のみ	近畿大学
5月19日(月)	東海支部主催講演会「シリコンバレー最新ITトレンド ～Hitachi Solutions Americaの活動内容ご紹介～」 http://www.ipsj-tokai.jp/			ホテルプラ玉山 (名古屋市)
5月22日(木)～ 5月23日(金)	第65回コンピュータセキュリティ・ 第25回インターネットと運用技術合同研究発表会 http://www.ipsj.or.jp/kenkyukai/event/csec65iot25.html	3月20日(木)	当日のみ	ホルトホール大分
5月26日(月)～ 5月27日(火)	第144回ハイパフォーマンスコンピューティング研究発表会 http://www.ipsj.or.jp/kenkyukai/event/hpc144.html	3月24日(月)	当日のみ	海洋研究開発機構 横浜研究所
5月31日(土)	第102回人文科学とコンピュータ研究発表会 http://www.ipsj.or.jp/kenkyukai/event/ch102.html	3月24日(月)	当日のみ	桜美林大学 町田キャンパス

開催日	名 称	論文等応募締切日	参加締切日	開催地
7月9日(水)～ 7月11日(金)	マルチメディア, 分散, 協調とモバイル (DICOMO2014) シンポジウム http://www.ipsj.or.jp/kenkyukai/event/dicom2014.html	3月3日(月)		ホテル泉慶 (新潟県新発田市)
9月3日(水)～ 9月5日(金)	FIT2014 第13回情報科学技術フォーラム http://www.ipsj.or.jp/event/fit/fit2014/index.html	4月16日(水): 査読付き 5月22日(木): 一般		筑波大学 筑波キャンパス

Web ページ (<http://www.ipsj.or.jp/>) 更新情報

[トピックス]

- 2月18日 論文誌「組み込みシステム工学」特集 論文募集
- 2月18日 論文誌「新しい社会を創る情報システム」特集 論文募集
- 2月17日 論文誌「ソフトウェア工学」特集 論文募集
- 2月15日 人材募集情報 (Vol.55 No.3)
- 2月15日 会誌「情報処理」Web カタログ (Vol.55 No.3)
- 2月15日 デジタルプラクティスは電読 (電子で読む) へ
- 2月05日 デジタルプラクティス「プライバシーフレンドリーシステム」特集論文募集
- 2月03日 2014 年度役員改選の投票について
- 2月03日 2014 年度代表会員の選出について
- 1月31日 認定情報技術者制度



フォロー・
リツイート
お願いします

◎twitter で情報発信中！

情報処理学会ツイッター ▶ @IPSJcom

ソフトウェア工学研究会 ▶ @IPSJ_SIGSE
 ハイパフォーマンスコンピューティング研究会 ▶ @HpcCommittee
 ヒューマンコンピュータインタラクション研究会 ▶ @ipsj_sighci
 情報基礎とアクセス技術研究会 ▶ @sigifat
 モバイルコンピューティングとユビキタス通信 ▶ @ipsj_sigmbi
 インターネットと運用技術研究会 ▶ @IPSJ_SIGIOT
 自然言語処理研究会 ▶ @ipsj_signl
 音楽情報科学研究会 ▶ @ipsj_sigmus
 コンピュータと教育研究会 ▶ @ipsjce
 エンタテインメントコンピューティング研究会 ▶ @ipsj_sigec
 バイオ情報学研究会 ▶ @sigbiojapan



いいね！・
シェア
お願いします

◎Facebook で情報発信中！

情報処理学会ページ www.facebook.com/IPSJcom

計算機アーキテクチャ研究会 www.facebook.com/groups/ipsj.sigarc/
 システムソフトウェアとオペレーティング・システム研究会 www.facebook.com/groups/ipsj.sigos/
 モバイルコンピューティングとユビキタス通信研究会 www.facebook.com/IPSJ.SIG.MBL
 インターネットと運用技術研究会 www.facebook.com/ipsjiot
 コンシューマ・デバイス&システム研究会 www.facebook.com/sig.cds
 電子化知的財産・社会基盤研究会 www.facebook.com/eipjp
 会員の力を社会につなげる研究グループ www.facebook.com/ssr.ipsj



◻◻ 協力協定学会との正会員会費相互割引について ◻◻

各学協会との協定により、正会員会費が割引になります。ぜひ、ご活用ください。
 本会 Web ページ (<http://www.ipsj.or.jp/member/kyoryoku.html>) にも掲載しております。

●協力協定学会名・相互割引率（正会員会費が割引対象）

IEEE	(The Institute of Electrical and Electronics Engineers, Inc.)	10%
IEEE-CS	(IEEE Computer Society)	10%
ACM	(Association for Computing Machinery)	20%
CSI	(Computer Society of India)	20%

※協力協定学会の会員費割引については、海外関連団体 (<http://www.ipsj.or.jp/annai/kanrenlink/kaigaikanren.html>) をご参照いただき、直接お問い合わせください。

●本会への申請方法

会費割引を希望する正会員は、次のフォームから申請してください。8月以降の申請は次年度会費を割引します。

正会員会費割引申請フォーム (<https://www.ipsj.or.jp/02moshikomi/mem/m-seikaiin-kaihiwaribiki.html>)

初めて申請する方は上記協力協定各学会正会員の会員証コピーを Fax 等で送ってください。割引適用は1学会分といたします。

※これから入会を希望する方も同様に申請できます。入会申込書（正会員）(https://www.ipsj.or.jp/02moshikomi/mem/m-nyukai_sei.html) をご確認ください。

■照会先：会員サービス部門 E-mail: mem@ipsj.or.jp Tel(03)3518-8370 Fax(03)3518-8375

人材募集 (有料会告)



申込方法: 任意の用紙に件名, 申込者氏名, 勤務先, 職名, 住所, 電話番号および請求書に記載する「宛名」, Web掲載の有無などを記載し, 掲載希望原稿〔募集職種, 募集人員, (所属), 専門分野, (担当科目), 応募資格, 着任時期, 提出書類, 応募締切, 送付先, 照会先〕を添えて下記の申込先へ, E-mail, Fax または郵送にてお申し込みください。

*都合により編集させていただく場合がありますので, ご了承ください。

申込期限: 毎月15日を締切日とし翌月号(15日発行)に掲載します。

掲載料金: 国公立教育機関, 国公立研究機関 21,000円(税込)
賛助会員(企業) 31,500円(〃)
賛助会員以外の企業 52,500円(〃)

*本会誌へ掲載依頼いただいた場合に限り, 追加料金4,000円で同一内容を本会Webページに掲載できます。

申込先: 情報処理学会 会誌編集部(有料会告係) E-mail: editj@ipsj.or.jp Fax(03)3518-8375

*原稿受付の際には必ず原稿受領のお知らせを差し上げています。もし返信がない場合は念のため確認のご連絡をください。

*特に指定がないかぎり履歴書には写真を貼付のこと

■関西学院大学工学部人間システム工学科

募集人員 教授, 准教授または専任講師 1名(常勤:任期なし)
専門分野 ヒューマン・コンピュータ・インタラクション, メディア情報処理, 知能ロボティクス, および, その関連分野(バーチャルリアリティ, 情報デザイン等)に関する研究
担当科目 情報処理技術の基礎科目および関連演習科目, 人間システム工学の専門科目, 卒業研究関連科目, 博士前期・後期課程学生の研究指導関連科目
着任時期 2015年4月1日
提出書類 (1)履歴書および学位証明書のコピー, (2)主な教育研究業績(①研究活動について, ②教育活動について, ③その他, 学内(社内)貢献, 学会への貢献, 社会貢献, 国際貢献等や受賞など, 特に重要と思われる事項について), (3)研究活動および教育活動にかかわる今後の計画・抱負等自身のキャリアパスや学生の研究指導に関する考え方を含む任期中の研究計画および抱負, 達成目標およびそれらの見通しについて, (4)研究業績リスト(「学術論文」, 「著書」, 「研究費獲得実績」, 「特許(出願, 公開, 登録)」, 「その他(受賞歴等)」について), (5)応募者本人の連絡先(郵便宛先とE-mailアドレス), (6)推薦書2通または意見を伺える方2名の氏名・所属と連絡先(E-mailアドレス) ※電子ファイルではなく印刷したものを提出
応募締切 2014年5月16日(必着)
送付先 〒669-1337 兵庫県三田市学園2-1 関西学院大学工学部学部長 加藤 知
「人間システム工学科教員応募書類在中」と朱書き簡易書留 *応募書類は返却いたしません
照会先 理工学部 片寄晴弘 E-mail: katayose@kwansei.ac.jp Tel(079)565-7841
その他 1. 当理工学部では講座制をとっておらず, 専任講師以上の教員は独立の居室および研究室を持ち, 平等な条件のもとに研究・教育を行っています, 2. 書類選考の結果により面接を実施します, 3. 理工学部は, 男女共同参画を推進しています

■鳥取大学大学院工学研究科

募集人員 准教授または講師 1名
所属 情報エレクトロニクス専攻知能情報工学講座
専門分野 情報工学に関する分野, 特にユビキタスコンピューティング, モバイル・クラウドコンピューティング, サイバーフィジカルシステムなどの情報社会基盤に関する分野
担当科目 (大学院)情報エレクトロニクス専攻で開設する専門科目
(学部)知能情報工学科で開設する, データ構造論, 情報ネットワークなどの専門科目および数学, 物理等の基礎科目
応募資格 (1)博士の学位を有すること, (2)上記の専門分野に関する十分な研究業績とソフトウェア開発・システム構築能力を有し, 教育, 研究および専攻運営に熱意があること
着任時期 2015年1月1日(予定)
提出書類 (1)履歴書(様式1), (2)教育歴(様式2), (3)研究歴(様式3), (4)その他の活動歴(様式4), (5)着任後の抱負(様式5), (6)研究業績リスト(様式6-1), (7)所見を伺える方の照会先(2名)または推薦状(2通)(様式7), (8)主要査読付き学術論文別刷(5編程度, コピー可)
応募締切 2014年8月31日(必着)
送付先/照会先 〒680-8552 鳥取県鳥取市湖山町南4-101 鳥取大学大学院工学研究科情報エレクトロニクス専攻知能情報工学 コース長 村田真樹 E-mail: murata@ike.tottori-u.ac.jp Tel(0857)31-5548 Fax(0857)31-0879
「教員応募書類在中」と朱書き簡易書留または宅配便にて送付 *原則として提出書類は返却しませんのでご了承ください
その他 選考方法: 専攻内選考(1次:書類審査, 2次:面接(プレゼンテーションを含む))および研究科内選考
公募の詳細については, 必ずWebページ(<http://akebia.jim.tottori-u.ac.jp/info/koubo.html>)を参照してください
鳥取大学は男女共同参画を推進しています。女性研究者の積極的な応募を歓迎します



FIT2014 講演募集案内 第13回情報科学技術フォーラム

Web サイト <http://www.ipsj.or.jp/event/fit/fit2014/>

【会期】2014年9月3日(水)～5日(金)
【会場】筑波大学 筑波キャンパス(つくば市)

電子情報通信学会情報・システムソサイエティ(ISS)並びにヒューマンコミュニケーショングループ(HCG)と情報処理学会(IPSJ)とは、2002年から合同で毎年秋季に、「情報科学技術フォーラム(FIT:Forum on Information Technology)」を開催しており、2014年9月には第13回目を筑波大学で開催します。

本フォーラムは、両学会の大会の流れを汲むものですが、従来の大会の形式に捉われずに、新しい発表形式を導入し、タイムリーな情報発信、活気ある議論・討論、多彩な企画、他分野研究者との交流、などを実現してきております。

皆様の研究成果発表の場として、論文発表を募集致しますので奮って御応募下さい。

論文誌への道!

「FIT 査読付き論文」で優秀論文を論文誌へ推薦する制度

FIT では、情報分野のより一層の活性化を目的として、「FIT 査読付き論文」について優秀な論文を FIT として電子情報通信学会または情報処理学会の論文誌へ推薦する制度がございます。「FIT 査読付き論文」の申込みと合わせて「論文誌への推薦希望」も受け付け致しますので、御希望の方は、Web からの講演申込みの際に「論文誌への推薦希望」欄にチェックを入れて下さい。論文誌へ推薦されるためには、完成度の高い論文であることが求められます。論文誌への推薦可否結果は、2014年6月20日(金)に推薦を希望された皆様にお知らせする予定です。本制度を利用し是非チャレンジして下さい。

※論文誌掲載の採否は、それぞれの学会の論文誌編集委員会が決定致します。

【FIT 論文表彰制度】

FIT には、**船井ベストペーパー賞**、**FIT 論文賞**、**FIT ヤングリサーチャー賞**からなる論文表彰制度がありますが、FIT2013よりこれらに加えて **FIT 奨励賞** を新たに創設致しました。

皆様、是非ともチャレンジして下さい。

船井ベストペーパー賞	FIT 査読付き論文で採択された論文の中から、査読会議において各分野の応募総数の 5%を上限として優秀な論文を推薦し最終的に 10 件程度の論文を選定。選定された論文の中から受賞論文 3 件 を選定。受賞論文には、表彰式(FIT2014 会期中)にて 賞金 20 万円 を船井情報科学振興財団より贈呈。
FIT 論文賞	上記船井ベストペーパー賞と同様の選定手続きを経て選定された論文 10 件程度の中から受賞論文 7 件程度 を選定。受賞論文には、表彰式(FIT2014 会期中)にて 賞金 5 万円 を FIT 運営委員会より贈呈。
FIT ヤングリサーチャー賞	発表件数の 1.5%を上限として、2014年12月31日現在で 33 歳未満の講演者(査読付き論文及び一般論文)を対象に優れた発表を選定。受賞者には 賞金 3 万円 を次回の FIT2015 の表彰式にて FIT 運営委員会より贈呈。
FIT 奨励賞	一般発表のセッション毎に座長の裁量で優秀な発表を 1 件その場で選定(該当なしもあり)。受賞者には、FIT2014 終了後に賞状を FIT 運営委員会より贈呈。

※いずれの賞も、電子情報通信学会または情報処理学会の会員であること

【申込みの方法・注意事項】

講演申込み及び論文原稿投稿は FIT2014Web サイトよりお願い致します。

一人が複数の発表を行うことを認めます。ただし、内容が極めて類似したものを数件にわたって発表することはできません。

なお、会場数、会期日数などの制約によりプログラム編成上、講演分野の変更を行うこともございますのであらかじめ御了承下さい。

【講演募集内容】

最近行った研究及び調査の報告、または成果を上げた新しい企画及び試験結果の報告、新製品の紹介等で、学術的に価値のある未発表のものに限ります。

論文の種類には、FIT 査読付き論文と FIT 一般論文があります。

FIT 査読付き論文 (4～8 ページ程度)

FIT 査読付き論文 (論文誌推薦希望) (6～8 ページ程度)

査読者や読者に研究内容が十分に伝わるように、最大 8 ページ程度に制限緩和された論文ページ数を活用して下さい。

【注 1】 査読付き論文に投稿されて不採録となった場合には、一般論文として扱います(一般論文での発表となります)。

【注 2】 FIT 査読付き論文を受け付ける研究分野(研究会)については、Web ページの募集分野で最新情報を御確認下さい。

【注 3】 FIT 査読付き論文を受け付ける研究分野(研究会)の選択は申込者様御自身の責任において適切に選択して下さい。

【注 4】 申込締切後、研究会での査読を行う際に、該当研究会で明らかに分野違い(研究会違い)と判断された論文については、査読プロセスには乗らずにクイックリジェクト(即不採録)され FIT 一般論文扱いとなりますのであらかじめ御了承下さい。

【注 5】 FIT 査読付き論文でページ数が 4 ページ以上ない場合はクイックリジェクト(即不採録)され FIT 一般論文扱いとなります。

【注 6】 FIT 査読付き論文(論文誌推薦希望)でページ数が 6 ページ以上ない場合は「論文誌推薦はしない」に即決し、FIT 査読付き論文としてのみの査読になります。

【注 7】 御自身の論文内容と一致した分野(査読受け入れ研究会)がない場合には、申し訳ございませんが FIT 査読付き論文として受け入れることができませんので、FIT 一般論文でのお申込みをお願い致します。

■ 申込主要日程

登録申込/投稿受付開始: 2014年3月 5日(水)

登録申込締切/査読用原稿の投稿締切

: 2014年4月16日(水)

査読の採否結果通知: 2014年6月20日(金)

論文誌への推薦可否結果通知(推薦希望者のみ)

: 2014年6月20日(金)

最終原稿投稿締切: 2014年6月30日(月)

FIT 一般論文 (2～8 ページ程度)

情報技術に関する研究成果や調査報告等、広く募集致します。論文ページ数は 2～8 ページ程度になります。

また、査読を行わない分、登録申込・投稿受付開始並びに投稿締切が、「査読付き論文」の申込に比べて約 2 か月遅くなります。

■ 申込主要日程

登録申込/投稿受付開始: 2014年4月23日(水)

登録申込締切: 2014年5月22日(木)

最終原稿投稿締切: 2014年6月30日(月)

【募集分野】

以下の 15 の分野で論文の募集を行います。

なお論文募集、FIT 査読付き論文の査読などは、電子情報通信学会(情報・システムソサイエティ、ヒューマンコミュニケーショングループ)と情報処理学会の研究会で進めます。各分野に対応する研究会は以下ようになります。

※は電子情報通信学会情報・システムソサイエティ、◇は電子情報通信学会ヒューマンコミュニケーショングループ、☆は情報処理学会を示します。

FIT 査読付き論文の募集は行わず FIT 一般論文のみの募集となる研究会がございますので御注意下さい。

■ は FIT 査読付き論文も受け付ける研究会(研究分野)

- A:モデル・アルゴリズム・プログラミング
 - A-1 ☆アルゴリズム(AL)
 - A-2 ☆数理モデル化と問題解決(MPS)
 - A-3 ☆プログラミング(PRO)
 - A-4 ※コンピュータシミュレーション(COMP)
- B:ソフトウェア
 - B-1 ☆ソフトウェア工学(SE)
 - B-2 ☆ハイパフォーマンスコンピューティング(HPC)
 - B-3 ☆システムソフトウェアとオペレーティング・システム(OS)
 - B-4 ☆デジタル・ドキュメント(DD)
 - B-5 ※ソフトウェアサイエンス(SS)
 - B-6 ※知能ソフトウェア工学(KBSE)
- C:ハードウェア・アーキテクチャ
 - C-1 ☆システムとLSIの設計技術(SLDM)
 - C-2 ☆計算機アーキテクチャ(ARC)
 - C-3 ☆組み込みシステム(EMB)
 - C-4 ※コンピュータシステム(CPSY)
 - C-5 ※ディペンダブルコンピューティング(DC)
 - C-6 ※リコンフィギャラブルシステム(RECONF)
 - C-7 ※再生可能集積システム(RIS)
- D:データベース
 - D-1 ☆データベースシステム(DBS)
 - D-2 ☆情報基礎とアクセス技術(IFAT)
 - D-3 ※データ工学(DE)
- E:自然言語・音声・音楽
 - E-1 ☆自然言語処理(NL)
 - E-2 ☆音声言語情報処理(SLP)
 - E-3 ☆音楽情報科学(MUS)
 - E-4 ※言語理解とコミュニケーション(NLC)
 - E-5 ※音声(SP)
- F:人工知能・ゲーム
 - F-1 ☆知能システム(ICS)
 - F-2 ☆ゲーム情報学(GI)
 - F-3 ※人工知能と知識処理(AI)
 - F-4 ※情報論的学習理論と機械学習(IBISML)
- G:生体情報科学
 - G-1 ☆バイオ情報学(BIO)
 - G-2 ※ニューロコンピューティング(NC)
 - G-3 ※MEとバイオサイバネティクス(MBE)
 - G-4 ※医用画像(MI)
- H:画像認識・メディア理解
 - H-1 ☆コンピュータビジョンとイメージメディア(CVIM)
 - H-2 ※パターン認識・メディア理解(PRMU)
- I:グラフィクス・画像
 - I-1 ☆グラフィクスとCAD(CG)
 - I-2 ☆オーディオビジュアル複合情報処理(AVM)
 - I-3 ☆エンタテインメントコンピューティング(EC)
 - I-4 ☆デジタルコンテンツクリエイション(DCC)
 - I-5 ※画像工学(IE)
- J:ヒューマンコミュニケーション&インタラクション
 - J-1 ☆ヒューマンコンピュータインタラクション(HCI)
 - J-2 ※異文化コラボレーション(IC)
 - J-3 ※クラウドネットワークロボット(CNR)
 - J-4 ◇ヒューマンコミュニケーション基礎(HCS)
 - J-5 ◇ヒューマン情報処理(HIP)
 - J-6 ◇ヒューマンプロンプト(HPB)
- K:教育工学・福祉工学・マルチメディア応用
 - K-1 ※教育工学(ET)
 - K-2 ※サイバーワールド(CW)
 - K-3 ※マルチメディア情報ハイディング・エンリッチメント(EMM)
 - K-4 ◇マルチメディア・仮想環境基礎(MVE)
 - K-5 ◇福祉情報工学(WIT)
- L:ネットワーク・セキュリティ
 - L-1 ☆インターネットと運用技術(IOT)
 - L-2 ☆コンピュータセキュリティ(CSEC)
 - L-3 ☆セキュリティ心理学とトラスト(SPT)
 - L-4 ※情報通信システムセキュリティ(ICSS)
- M: ユビキタス・モバイルコンピューティング
 - M-1 ☆グループウェアとネットワークサービス(GN)
 - M-2 ☆ユビキタスコンピューティングシステム(UBI)
 - M-3 ☆モバイルコンピューティングとユビキタス通信(MBL)
 - M-4 ☆高度交通システムとスマートコミュニティ(ITS)
 - M-5 ☆マルチメディア通信と分散処理(DPS)
- N:教育・人文科学
 - N-1 ☆コンピュータと教育(CE)
 - N-2 ☆人文科学とコンピュータ(CH)

- N-3 ☆電子化知的財産・社会基盤(EIP)
- N-4 ☆教育学習支援情報システム(CLE)

- O:情報システム
 - O-1 ☆情報システムと社会環境(IS)
 - O-2 ※ライフインテリジェンスとオフィス情報システム(LOIS)
 - O-3 ※ソフトウェアインタプライズモデリング(SWIM)
 - O-4 ※サービスコンピューティング(SC)
 - O-5 ※減災情報システム(DRIS)

〔使用言語〕

日本語または英語

〔論文ページ数・講演時間〕

FIT 一般論文ページ数: 2~8 ページ程度
 FIT 査読付き論文ページ数: 4~8 ページ程度
 FIT 査読付き論文(論文誌推薦希望): 6~8 ページ程度
 ※3 ページ目以降から 1 ページ当り 4,000 円のページチャージ
 講演時間: 1件 20 分(発表時間 15 分、質疑時間 5 分)

〔講演使用機器〕

FIT 査読付き論文、FIT 一般論文とも PC プロジェクターとします。PC は各自持参をお願いします。

〔講演者の資格〕

講演者の資格は以下のとおりです。

会 員	電子情報通信学会、情報処理学会、電気学会、照明学会、映像情報メディア学会及び電子情報通信学会と協定を締結した海外の学会(IEEK、APSIPA、ECIT、IEEE/ComSoc、KICS、VDE/ITG、KIEES、CIC、IEEE/PHO、IEEE/MTT-S、IEEE/CS、KIISE)または情報処理学会と協定を締結した海外の学会(ACM、IEEE、IEEE/CS、KIISE、CSI)の個人会員に限ります。
非会員	上記の学会会員以外の方。

〔講演参加費(税込)〕

講演参加費は、基本原稿掲載料 2 ページ、講演料、聴講料、論文集 DVD-ROM、プログラム、参加章の代金を含みます。なお、DVD-ROM は FIT 開催前に講演者の方に送付しますが、プログラム、参加章は会場でのお引き渡しとなります。

また、登録申込締切り後、講演の取消しをされても講演参加費等お申込内容に基づく費用につきましてはお支払いを頂くこととなりますので御注意下さい。

正会員	10,000 円
学生会員	6,000 円
一般非会員(社会人)	20,000 円
学生非会員	12,000 円

〔エキストラページ費用(税込)〕

エキストラページ(3 ページ目以降)を利用された場合には、講演参加費にプラスして以下の費用を頂きます。

エキストラページ費: 1 ページ当り 4,000 円

〔別刷代(FIT 査読付き論文の採択者のみ)(税込)〕

FIT 査読付き論文に採択された方には論文の別刷(100部)を御購入頂きます。別刷代は、エキストラページの有無に関わらず 20,000 円となります。

〔講演者予稿分冊頒布〕

講演者には、御自身の論文が掲載されている講演論文集を 1 部に限り 8,000 円で講演申込時に同時受付致します。御希望の方は講演申込書の「講演論文集を希望する」にチェックをお願いします。

なお、講演論文集の一般販売は、個人購入の場合 1 部 12,000 円、法人購入の場合 15,000 円となります。

〔最新情報確認のお願い〕

FIT2014 に関する最新情報は、FIT2014Web サイトへ逐一掲載してまいりますので御確認をお願い致します。

◆◆ 有料会告について ◆◆

本会の主催・共催行事および協賛・後援記事の次第書（論文募集，参加案内等）の本誌掲載については，下記により有料にて取り扱っていますのでお知らせします。

記

■掲載条件

件名	内容	掲載単位	掲載料金（消費税込）	
論文募集／ 参加者募集	国際会議，シンポジウム，ワークショップ，講演会，講習会などの論文募集・参加者募集	1 ページ，1/2 ページまたは 1/4 ページ	（主催・共催）	
			1 ページ	52,500 円
			1/2 ページ	31,500 円
			1/4 ページ	21,000 円
			（協賛）	
			広告として取り扱う	
人材募集	国公立教育機関，国公立研究機関， 企業の人材募集	10 行程度	国公立教育機関，国公立研究機関	21,000 円
			賛助会員（企業）	31,500 円
			賛助会員以外の企業	52,500 円
* 本会誌へ掲載依頼いただいた場合に限り，追加料金 4,000 円で同一内容を本会 Web ページに掲載できます。				

■申込方法 任意の用紙に，件名，申込者氏名，勤務先，職名，住所，電話番号および請求書宛先，Web 掲載の有無（人材募集のみ）などを記載し，掲載希望原稿を添えて下記の申込先へお申し込みください。

■原稿の書き方

- 行事次第書： A4 判カメラレディまたは PDF ファイル（フォント埋め込み）とします。
（1 ページ） 天地 260mm × 左右 175mm
（1/2 ページ） 天地 130mm × 左右 175mm
（1/4 ページ） 天地 65mm × 左右 175mm
* A4 判以外の原稿は縮小または拡大となりますのでご注意ください。

- 人材募集： 次の項目を明記し，E-mail または Fax，郵送にてお送りください。
[募集職種，募集人員，（所属），専門分野，（担当科目），応募資格，着任時期，提出書類，応募締切，送付先，照会先]
* なお，都合により編集させていただく場合がありますので，ご了承ください。

■申込期限 毎月 15 日を締切日とし，翌月号（15 日発行）に掲載します。

■掲載料金 掲載号発行日に料金を請求いたしますので，3 カ月以内にお支払いください。

■掲載申込先 一般社団法人 情報処理学会 会誌編集部門（有料会告係）
〒 101-0062 東京都千代田区神田駿河台 1-5 化学会館 4F
E-mail: editj@ipsj.or.jp Tel (03) 3518-8371 Fax (03) 3518-8375

情報処理学会の会員になりませんか!

www.ipsj.or.jp

新規会員
募集中

一般社団法人 情報処理学会は、IT に関する専門家集団として健全な情報化社会の実現に向けて、学術・文化・産業等の多方面に貢献しています。

■活動の概要

- 機関誌（「情報処理」「情報処理学会論文誌」）の発行
- 各種行事の開催（研究発表会、全国大会、FIT（情報科学技術フォーラム）、シンポジウム、連続セミナー他）
- 情報処理教育活動
- 国際交流
- 標準化活動
- 出版活動

■会員になるには

入会金（正会員のみ）と会費をお振り込みの上、入会申込書をお送りください。理事会で承認後会員証（賛助会員除く）をお送りします。情報処理学会の会員は、個人会員と賛助会員から構成されています。

個人会員

正会員：当学会の中心的会員で、IT 分野に携わっているかまたは興味のある個人
学生会員：学校に在学中の個人
名誉会員：当学会の活動において特別な功績のあった個人

賛助会員

当学会の活動をサポートする法人

■ご入会いただくと、こんな良いことがあります。



2013 年

ホット
トピックス

1 最新技術を紹介する会誌「情報処理」が毎月お手元に届きます。

特集：オープンデータ活用／プライバシーを守った IT サービスの提供技術／ユーザスタディのフロンティア／ソフトウェア工学の共通問題／現役プロ棋士に勝ち越したコンピュータ将棋～第 2 回将棋電王戦速報～／スマートフォンプログラミング／生活をデザインする：生活機能構成学のアプローチ／ノーマリーオフコンピューティング／ネットワークロボット、その人と街とのかかわり／実世界に広がる装着型センサを用いた行動センシングとその応用／DoS 攻撃／新年度企画：研究会紹介／モビリティの進化、他

2 実務の現場で IT を実践する皆様に向けた論文誌「デジタルプラクティス」(年 4 回発行)が電子版でご覧いただけます。

特集：経営に貢献するコンタクトセンタ (1 月刊行) / 利用されるクラウドコンピューティング (10 月刊行) / ヘルスケアの現場を支える IT (7 月刊行) / 要求工学で情報システム開発を変える (4 月刊行)

3 電子図書館(情報学広場)で「情報処理」の過去の記事を見ることができます。

4 「連続セミナー」に会員価格(7,000 円お得)で参加できます。

時代に即しかつ技術の先進性に富んだ内容をテーマに、その分野の第一線で活躍している講師を招いて年数回にわたり開催しています。2013 年度は「ビッグデータの深化と真価」をテーマに、6 回の開催がありました。

5 ホットトピックスに対応する「シンポジウム・セミナー」(5,000 円以上お得)や「研究会」に会員価格で参加できます。

インターネット、E ビジネス、セキュリティ、ユビキタス・モバイル・情報家電・組込み、ディベンダブルシステム、低消費電力化、リコンフィギャラブルプロセッサ、グリッド、UML・オブジェクト指向・アスペクト指向、エージェント、セマンティックウェブ・XML・データマイニング、マルチメディア、エンタテインメント・バーチャルリアリティ、e-ラーニング、バイオインフォマティクス、バイオメトリクス、量子コンピューティング・DNA コンピューティング、進化的計算・複雑系、ITS、金融工学・経済物理

6 出版図書が会員割引で購入できます。

IT Text シリーズ、英文図書 Advanced Information Technology シリーズ、日本のコンピュータ史等

他にも会員向けサービスがたくさんあります。詳細は学会 Web サイトをご覧ください。

お問い合わせは、
一般社団法人 情報処理学会 会員サービス部門

〒101-0062 東京都千代田区神田駿河台 1-5 化学会館 4F
Tel.(03)3518-8370 Fax.(03)3518-8375 mem@ipsj.or.jp

日本のコンピュータ史

情報処理学会歴史特別委員会 編
A5判・388頁 定価7980円(本体7600円+税)

The History of Japanese Computers

1980年から2000年の20年間の日本のコンピュータの歴史を情報処理学会歴史特別委員会で検証してまとめたものです。この時代は、パソコンとインターネットの時代へとITが大きく変貌と遂げた激変の時代であり、その最前線で関わった人たちによって執筆されています。

1960年以前の歴史をまとめた「日本のコンピュータの歴史」と1960年から1980年をまとめた「日本のコンピュータ発達史」をCD-ROMに収録して添付しています。



【編集委員会】

- 委員長：笈田 弘(前沖電気工業株式会社)
- 幹事：松永俊雄(東京工科大学名誉教授)
- 委員：旭 寛治(前株式会社日立製作所)／鶴飼直哉(前富士通株式会社)／浦城恒雄(東京工科大学名誉教授)／坂井修一(東京大学)／前島正裕(国立科学博物館)／山田昭彦(コンピュータシステム&メディア研究所)／和田英一(東京大学名誉教授)

【目次】

- 第1章 日本のコンピュータ史概論(1980年まで)
- 第2章 日本のコンピュータ史概論(1980年から2000年まで)
- 第3章 日本のコンピュータの発展 汎用大型コンピュータ(メインフレーム)／オフィスコンピュータ／パーソナルコンピュータ／スーパーコンピュータ／ワークステーション・サーバ／日本語ワードプロセッサ(ワードプロセッサ)／周辺機器／専用端末装置システム／ソフトウェア／文字コード／大学など研究機関での活動
- 第4章 ネットワーク社会への展開 ネットワーク環境の変遷／OSIの始まりと終焉／インターネット／モバイルコミュニケーション／電子商取引
- 第5章 情報技術分野の主要な研究開発プロジェクト 概要／第五世代コンピュータ／科学技術用高速計算システム／リアルワールド・コンピューティング／TRONプロジェクト／DIPS
- 第6章 その後の進展と今後の展望
年表・年譜

「日本のコンピュータ史」購入申込書

送付先 ■ 〒101-0062 千代田区神田駿河台 1-5 化学会館 4F 一般社団法人 情報処理学会出版担当
Tel: (03)3518-8371 (部門直通) Fax: (03)3518-8375 E-mail: editj@ipsj.or.jp

会員価格 ■ (送料・税込み) **7,182 円** *学会間の相互協力により、情報処理学会、電気学会、照明学会、電子情報通信学会、映像情報メディア学会の5学会の個人・法人会員の方は、会員価格で購入できます。

記入欄

◎所属学会

学会名： _____ 会員 No.： _____

◎購入申込冊数

購入申込冊数 _____ 冊 合計金額 _____ 円

◎お支払い方法 下記の該当お支払い方法にチェック☑し、見積・納品・請求書の希望枚数をご記入ください。

お支払い方法： 銀行 郵便振替 現金持参

見積・納品・請求書 (3枚綴り)： _____ 通 希望 請求書宛先： _____

◎送付先 (※は必須事項)

ご氏名*：(漢字) _____ (カナ) _____

送付区分*： 自宅 勤務先

ご住所*： 〒 _____

会社/学校名： _____ 所属： _____

Tel*： _____ Fax： _____

E-mail*： _____

●通信欄 (要望事項等あればご記入ください)



新刊!!

ITText 数理解最適化

久野誉人・繁野麻衣子・後藤順哉 共著
A5判/272頁/本体3,300円(税別)

ITText メディア学概論

山口治男 著
A5判/172頁/本体2,400円(税別)

ITText 一般教育シリーズ 情報とコンピュータ

河村一樹・和田 勉・山下和之・立田ルミ・岡田 正・佐々木整・山口和紀 共著
A5判/176頁/本体2,200円(税別)

ITText 一般教育シリーズ 情報と社会

駒谷昇一 編著
A5判/220頁/本体2,500円(税別)

ITText 一般教育シリーズ 情報システム基礎

神沼靖子 編著
A5判/228頁/本体2,500円(税別)

ITText 一般教育シリーズ 情報とコンピューティング

河村一樹 編著
A5判/218頁/本体2,500円(税別)

ITText コンパイラとバーチャルマシン

今城哲二・布広永示・岩澤京子・千葉雄司 共著
A5判/212頁/本体2,800円(税別)

ITText コンピュータグラフィックス

魏 大名・Carl Vilbrandt・Roman Durikovic・先田和弘・向井信彦 共著
A5判/280頁/本体3,000円(税別)

ITText コンピュータネットワーク

松下 温・重野 寛・屋代智之 共著
A5判/216頁/本体2,500円(税別)

ITText 音声認識システム

鹿野清宏・伊藤克巨・河原達也・武田一哉・山本幹雄 編著
A5判/216頁/CD-ROM付/本体3,500円(税別)

ITText エージェント工学

西田豊明・木下哲男・北村泰彦・間瀬健二 共著
A5判/226頁/本体2,800円(税別)

ITText ヒューマンコンピュータインタラクション

岡田謙一・西田正吾・葛岡英明・塩澤秀和・仲谷美江 共著
A5判/240頁/本体2,800円(税別)

ITText オペレーティングシステム

野口健一郎 著
A5判/240頁/本体2,800円(税別)

ITText データベース

速水治夫・宮崎収兄・山崎晴明 共著
A5判/196頁/本体2,500円(税別)

ITText ソフトウェア工学演習

伊藤 潔・廣田豊彦・富士 隆・熊谷 敏・川端 亮 共著
A5判/228頁/本体2,800円(税別)

ITText 情報リテラシー

海野 敏・田村恭久 共著
A5判/248頁/本体2,800円(税別)

ITText 人工知能

本位田真一 監修 松本一教・宮原哲浩・永井保夫 共著
A5判/200頁/本体2,500円(税別)

ITText コンピュータアーキテクチャ

内田啓一郎・小柳 滋 共著
A5判/236頁/本体2,800円(税別)

ITText データマイニングの基礎

元田 浩・津本周作・山口高平・沼尾正行 共著
A5判/292頁/本体3,200円(税別)

ITText 自然言語処理

天野真家・石崎 俊・宇津呂武仁・成田真澄・福本淳一 共著
A5判/192頁/本体2,500円(税別)

ITText 応用Web技術

市村 哲・宇田隆哉・伊藤雅仁 共著
A5判/210頁/本体2,500円(税別)

ITText 認知インタフェース

加藤 隆 著
A5判/248頁/本体2,800円(税別)

ITText プログラム仕様記述論

荒木啓二郎・張 漢明 共著
A5判/210頁/本体2,800円(税別)

ITText 情報と職業

駒谷昇一・辰巳丈夫・楠元範明 共著
A5判/232頁/本体2,500円(税別)

ITText アルゴリズム論

浅野哲夫・和田幸一・増澤利光 共著
A5判/242頁/本体2,800円(税別)

ITText ソフトウェア開発

小泉寿男・辻 秀一・吉田幸二・中島 毅 共著
A5判/224頁/本体2,800円(税別)

ITText 基礎Web技術

松下 温 監修/市村 哲・宇田隆哉・伊藤雅仁 共著
A5判/200頁/本体2,500円(税別)

ITText 知識マネジメント

大澤幸生 編著
A5判/232頁/本体2,800円(税別)

ITText 情報セキュリティ

宮地充子・菊池浩明 編著
A5判/280頁/本体3,000円(税別)

ITText 分散処理

谷口秀夫 編著
A5判/240頁/本体2,800円(税別)

ITText Linux演習

前野謙二・落合 昭・生野荘一郎・塩澤秀和・高島俊徳 共著
A5判/224頁/本体2,500円(税別)

ITText インターネットプロトコル

阪田史郎 編著
A5判/272頁/本体2,800円(税別)

ITText 組込みシステム

阪田史郎 著 高田広章 編著
A5判/280頁/本体3,000円(税別)

ITText システムLSI設計工学

藤田昌宏 編著
A5判/242頁/本体2,800円(税別)

ITText Java基本プログラミング

今城哲二 編 布広永示・マッキン ケネスジェームス・大見嘉弘 共著
A5判/234頁/本体2,500円(税別)

ITText 人画像処理

越後富夫・岩井儀雄・森島繁生・鷺見和彦・井岡幹博・八木康史 共著
A5判/258頁/本体2,800円(税別)

ITText 情報理論

白木善尚 編 村松 純・若田賢一・有村光晴・渋谷智治 共著
A5判/248頁/本体2,800円(税別)

ITText Java/UMLによるアプリケーション開発

布広永示・高橋英男 共著
A5判/208頁/本体2,600円(税別)

ITText Javaオブジェクト指向プログラミング

布広永示 編著
A5判/280頁/本体2,800円(税別)

ITText ユビキタスコンピューティング

松下 温・佐藤明雄・重野 寛・屋代智之 共著
A5判/222頁/本体2,800円(税別)

ITText HPCプログラミング

寒川 光・藤野清次・長嶋利夫・高橋大介 共著
A5判/246頁/本体2,800円(税別)

ITText 確率統計学

須子統太・鈴木 誠・浮田善文・小林 学・後藤正幸 共著
A5判/264頁/本体2,800円(税別)

ITText 離散数学

松原良太・大鷹彰昇・藤田慎也・小関健太・中上川友樹・佐久間雅・津垣正男 共著
A5判/256頁/本体2,800円(税別)

ITText 一般教育シリーズ 情報ネットワーク

岡田 正・駒谷昇一・西原清一・水野一徳 共著
A5判/160頁/本体2,300円(税別)

ITText 一般教育シリーズ 情報とネットワーク社会

駒谷昇一・山川 修・中西通雄・北上 始・佐々木整・湯瀬裕昭 共著
A5判/192頁/本体2,200円(税別)

お申し込みは



101-8460 東京都千代田区神田錦町3-1
TEL 03 (3233) 0641 FAX 03 (3293) 6224

<http://www.ohmsha.co.jp/>
本体価格(税別)は変更する場合があります。

「情報処理」 カタログ同封サービスの ご案内



カタログ同封
 サービスとは？

毎月会員に配布している学会誌に貴社 / 貴校のカタログや広告を同封し、直接読者にお届けするサービスです。
 通常のDMと異なり学会誌に同封しますので、読者の開封率は格段に上がります。また、カタログ送付にかかるコストを最小に抑えることができ、なおかつ情報処理を専門とする読者にターゲットを絞った効果的な案内を出すことが可能となります。

お申し込み方法と掲載までの手続き

- 封入希望月の前月15日までに下記事項を記載の上、問合せ先までお申し込みください。
 - ◆会社名, 担当者, 連絡先 (住所, Tel, Fax, E-mail) ◆封入希望月
 - ◆サイズ ◆カタログの簡単な内容説明
 - ◆割引対象にあたる場合はその旨記載ください。
- 封入希望月の遅くとも前月末日までに下記事項について手配をお願いします。
 - ◆カタログ見本を問合せ先までお送りください (PDF, Fax 可)。
 - ◆納品業者をお知らせください。
- 納品日は封入希望月の5日 (土曜、日曜、祝日の場合は翌営業日) です。日付指定にて必要枚数 (20,000 枚) を印刷し指定の納品先へお送りください。
 - ※ 納品先は、お申し込み後にご連絡いたします。
 - ※ 納品が遅れますと同封ができない場合がございます。その場合はキャンセルとさせていただきます。
- カタログを同封した学会誌を発行日にお送りしますので、ご確認ください。
- 後日請求書をお送りしますので振込手続きをお願いします。

1通あたり
 約16円!

※ 価格はすべて税込

基本価格 367,500 円

対象：全会員 20,000 通 配布

(正会員 / 名誉会員 / 学生会員 / 賛助会員)

大学や
 共催事業は
 さらに割引も!

大学 / 研究所 / 賛助会員または情報処理学会主催・共催事業は、下記のとおり割引料金が適用されます。

大学 / 研究所 / 賛助会員
 (基本価格の 40% Off!) **220,500 円**

情報処理学会主催・共催事業*
 (基本価格の 80% Off!) **73,500 円**

*情報処理学会研究会主催、共催を含む

サイズ：A4判またはA3判二つ折り (その他についてはご相談ください)
 用紙：色上質厚口 (四六判 80kg) またはコート紙 (四六判 90kg) 相当

📞 問合せ先

[広告代理店] アドコム・メディア (株) E-mail: sales@adcom-media.co.jp
 〒169-0073 東京都新宿区百人町 2-21-27
 Tel.(03)3367-0571 Fax.(03)3368-1519

一般社団法人情報処理学会 会誌編集部門 E-mail: editj@ipsj.or.jp
 〒101-0062 東京都千代田区神田駿河台 1-5 化学会館 4F
 Tel.(03)3518-8371 Fax.(03)3518-8375

デジタルプラクティス



デジタルプラクティス編集委員会

2014年4月、紙読(紙で読む)から電読(電子で読む)へ

これまでデジタルプラクティスは会員皆様に紙冊子でお届けして参りましたが、2014年4月発行号(第18号)より電子版に切り替わります。すべての論文は、バックナンバーも含め電子図書館より無料でダウンロードできますので、これまでと変わらぬご愛顧をどうぞよろしくお願い致します。この電子化により印刷経費を低く抑えられる一方で、読者や潜在的な著者に対するプレゼンス低下が懸念されます。そこで編集委員一同、論文誌としての価値がより高まるよう、さらなる特集企画の充実や広報等に努めて参りたいと思っております。

最新号,バックナンバーは
電子図書館 (<https://ipsj.ixsq.nii.ac.jp/ej/>) から
無料ダウンロードで電読できます。

* 電子図書館は事前にユーザ登録(無料)が必要です。



デジタルプラクティスの目的は、ICTの現場において、試行錯誤や創意工夫の繰り返しの中から日々生み出されるプラクティスという知を社会全体で共有することです。読者の皆様が、デジタルプラクティス論文の中からご自身の仕事にも活かせる現場の知を見出してくださいれば幸いです。著者の皆様にとってデジタルプラクティスが自己研鑽やキャリアアップの機会につながれば幸いです。今後は、読者、著者の皆様に電子版ならではのサービスを提供して参りたいと思っております。

ご質問等は情報処理学会デジタルプラクティス担当 editdp@ipsj.or.jp までお寄せください。

ご意見をお寄せください！

【4月10日頃までにお出しく下さい】

宛先 一般社団法人 情報処理学会 モニタ係（下記のいずれからも送付できます）
http://www.ipsj.or.jp/magazine/enquete.html Fax(03)3518-8375 E-mail: editj@ipsj.or.jp
(E-mail で送信される場合は、10-1-a のようにコードでお答えください)
※ ご意見の投稿に伴う、住所、氏名、所属などの個人情報については、学会のプライバシーポリシーに準じて取り扱いいたします。
http://www.ipsj.or.jp/privacypolicy.html

[コード]

- (1) ご氏名
- (2) ご所属 Tel. () -
- (3) E-mail:
- (4) 業種： (a) 企業（サービス業） (b) 企業（製造業） (c) 研究機関 (d) 教育機関（大学・高専など）
(e) 学生 (f) その他 4- []
- (5) 職種： (a) 研究職 (b) 開発・設計 (c) システムエンジニア (d) 営業 (e) 本社管理業務
(f) 会社経営・役員・管理職 (g) 教職員（大学・大学院） (h) 教職員（小・中・高校・高専など）
(i) 学生 (j) その他 5- []
- (6) 年齢： (a) 10代 (b) 20代 (c) 30代 (d) 40代 (e) 50代 (f) 60代以上 6- []
- (7) 性別： (a) 男性 (b) 女性 7- []
- (8) あなたはモニタですか？： (a) はい (b) いいえ 8- []
- (9) あなたのご意見は「会員の広場」（会誌およびWeb）に掲載される場合があります。その場合：
(a) 実名可（氏名のみ掲載） (b) 匿名希望 (c) 掲載を希望しない 9- []
- (10) 今月号（2014年4月号）の記事は良かったですか。下記の記事すべてについて評価をご回答ください。
[a…大変良い b…良い c…普通、どちらとも言えない d…悪い e…読んでいない]

- 巻頭コラム：世界とつながる技術 10-1- []
- 特集：情報教育と情報入試
1. 高等学校における情報科の位置付け 10-2- []
 2. 教育の新科学化 10-3- []
 3. 新学習指導要領における情報の科学的な理解 10-4- []
 4. 情報に関する専門学科と専門教科情報科の現状と課題 10-5- []
 5. 米国の高等学校における情報教育（カリフォルニア州を中心に） 10-6- []
 6. 韓国の情報教育 10-7- []
 7. 大学の一般情報教育 10-8- []
 8. 広島大学に見る一般情報教育カリキュラムの改革 10-9- []
 9. あなたにとって「情報」って入試科目ですか？ 10-10- []
 10. 第1回大学情報入試全国模擬試験問題の紹介と解説・実施報告 10-11- []
 11. 情報入試で求める人材とは 10-12- []
 12. グローバルな学際人材のための情報科入試 10-13- []
- IT好き放題：インターネットとともに歩んで 10-14- []
- 特集 新年度企画：研究会活動紹介 10-15- []
- エクサスケール・コンピューティングへの挑戦 10-16- []
- 古機巡礼/二進伝心：オーラルヒストリー：坂井利之氏インタビュー 10-17- []
- ピブリオ・トーク：珠玉のプログラミング 10-18- []

- [11] 本号で最も良かった記事は何ですか？ 上記 [10] の設問の記事番号から1つだけ選び（例：10-8の記事の場合は「8」と記入）、その理由をご回答ください。上記に掲載されていない記事の場合はタイトルを直接ご記入ください。
- [11-1] 良かった記事 11-1- []
- [11-2] この記事に対する貴方の立場：a) 専門家 b) 非専門家 11-2- []
- [11-3] 選んだ理由（下記から、いくつでも選択可） 11-3- []
- a) 技術・研究動向がよく分かった
 - b) 知的興味をかきたてられた
 - c) 新たな知識を得ることができた
 - d) 内容が平易で理解しやすかった
 - e) その他（具体的に下記にご記入ください）

[12] 本号で最も良くなかった記事は何ですか？ 上記 [10] の設問の記事番号から1つだけ選び（例：10-8の記事の場合は「8」と記入），その理由をご回答ください。上記に掲載されていない記事の場合はタイトルを直接ご記入ください。

- [12-1] 良くなかった記事 12-1- []
 [12-2] この記事に対する貴方の立場：a) 専門家 b) 非専門家 12-2- []
 [12-3] 選んだ理由（下記から，いくつでも選択可） 12-3- []
 a) 記事の内容に誤りがあった b) ありきたりの内容だった c) 記事が難しすぎた d) 何を言いたいのか分からなかった e) 宣伝の意図が強すぎる
 f) テーマに興味を持てなかった g) その他（下記に具体的に記入ください）

[13] 今月の特集に対する貴方の立場を教えてください。

- [13-1] 情報教育と情報入試：a) 専門家 b) 非専門家 13-1- []
 [13-2] 研究会活動紹介：a) 専門家 b) 非専門家 13-2- []

[14] 設問 [10] で読んでいないと答えた記事について，その理由を教えてください。

[15] 会誌に対するご意見やご感想，著者への質問，巻頭コラムに登場してほしい人物，今後取り上げてほしいテーマなどありましたらご記入ください。（スペースが足りない場合はお手数ですが別紙を追加してください）

■ 各種問合せ先 ■

一般社団法人 情報処理学会（本部） ※ 支部所在地等詳細はリンクされている各支部ページでご参照ください。
 〒 101-0062 東京都千代田区神田駿河台 1-5 化学会館 4F Fax(03)3518-8375 <http://www.ipsj.or.jp/>

担当	E-mail	Tel(ダイヤルイン)	取り扱い内容
■ 会員サービス部門			
会 員	mem@ipsj.or.jp	03-3518-8370	入会，会費，変更連絡，退会，在会証明，会員証，会費等口座振替，海外からの送金
■ 会誌編集部門			
会誌編集	editj@ipsj.or.jp	03-3518-8371	会誌「情報処理」の掲載内容，広告掲載，転載許可，出版，論文誌（デジタルプラクティス），著作権
■ 研究部門			
論文誌	editt@ipsj.or.jp	03-3518-8372	論文誌（ジャーナル／トランザクション／JIP）の編集・査読
調査研究／教育	sig@ipsj.or.jp		研究会登録，研究発表会，シンポジウム，研究グループ，国際会議，IFIP委員会
■ 事業部門			
事 業	jigy@ipsj.or.jp	03-3518-8373	全国大会，FIT，連続 세미나，プログラミング・シンポジウム
■ 管理部門			
総 務	soumu@ipsj.or.jp	03-3518-8374	理事会，支部，役員選挙，名誉会員
経 理	keiri@ipsj.or.jp		出納，送金連絡
システム企画	sys@ipsj.or.jp		システム企画，電子化委員会，電子図書館，IP SJ メールニュース
図 書	tosho@ipsj.or.jp		出版物購入
■ 情報規格調査会			
規格部	standards@itscj.ipsj.or.jp	標準化フォーラム 〒 105-0011 東京都港区芝公園 3-5-8 機械振興会館 308-3 Tel (03)3431-2808 Fax (03)3431-6493 http://www.itscj.ipsj.or.jp/	

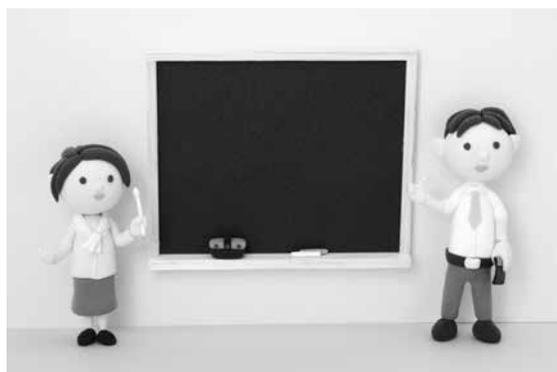
本特集は、普段は会誌ではあまり語られることがなかった「初等中等情報教育」に関して、読者に広範な知識(概要)を伝えることができたこと、編集担当としては感じている。

特に、本特集の後半は情報入試関連の記事で構成した。筆者は「情報科を入試に出せばすべてがうまく解決する」とは考えていない。だが、現在の高校の情報科に見られるさまざまな「達成したい要望」のためには、情報科が入試に本格的に採用されることも方策の1つとして重要であると考えている。また、高校の情報科の教員たちから、「入試に出ない情報科の宿題は、生徒に出しにくいので出さない」という配慮を(暗に)求められることもあると聞く。入試に本格的に採用されるようになれば、この状況も変わるに違いない。

ところで、たとえば数学の場合、公式を暗記すれば解ける問題が増えると、数学教育が考えることから公式を覚えることに重心が移り、教育の内容が悪くなると言われている。情報科でも同様であろう。ゆえに、良質な情報科の入試問題を作ることがきわめて重要である。これができる初めて、高校の情報科の先生方とともに、我が国の高校生・大学生の情報活用能力が向上し、大学の情報系専門学科や、情報技術を取り扱う産業にとってもよい人材育成につながる。

今後、情報処理学会の会員になる若い人は、その前は高校生であり、そして中学生であったに違いない。本特集がきっかけとなって、大学教育の前提となる我が国の初等中等情報教育について議論が活発になることを願うものである。

(辰己丈夫／本特集エディタ)



次号(5月号) 予定目次

編集の都合により変更になる場合がありますのでご了承ください。

「特集」次世代ライブラリ

カーリル図書館のオープンデータ化を促す仕組み—/リブライズ—すべての本棚を図書館に変える仕組み/文化芸術デジタルアーカイブの活用とオープン化—一次世代の文化機関像—/変わる大学図書館—九州大学附属図書館のシステムデザイン—/クラウドソーシングを先取りした青空文庫の軌跡—ボランティアによる電子ライブラリ活動—/ムックと大学教育のイノベーション

解 説：定理証明支援系に基づく形式検証—近年の実例のサーベイと Coq 入門— Affeldt Reynald

教育コーナー：ぺた語義

連 載：ビブリオ・トーク

コラム：巻頭コラム/シニアコラム：IT 好き放題

広告のお申込み

■広告料金表

掲載場所	4色	2色	1色
表2	346,500円 (税抜330,000円)	—	—
表3	288,750円 (税抜275,000円)	—	—
表4	404,250円 (税抜385,000円)	—	—
表2対向	315,000円 (税抜300,000円)	—	—
表3対向	278,250円 (税抜265,000円)	199,500円 (税抜190,000円)	162,750円 (税抜155,000円)
前付1頁	262,500円 (税抜250,000円)	173,250円 (税抜165,000円)	141,750円 (税抜135,000円)
前付1/2頁	—	—	84,000円 (税抜80,000円)
前付最終	—	—	155,400円 (税抜148,000円)
目次前	—	—	155,400円 (税抜148,000円)
差込 (A判70.5kg未満 1枚)	288,750円 (税抜275,000円)		
差込 (A判70.5kg～86.5kg 1枚)	367,500円 (税抜350,000円)		
同封 (A判 1枚)	367,500円 (税抜350,000円)		

■「情報処理」

発行 一般社団法人 情報処理学会
 発行部数 20,000部
 体裁 A4判
 発行日 毎当月15日
 申込締切 前月10日
 原稿締切 前月20日
 広告原稿 完全版下データ
 原稿寸法 1頁 天地260mm×左右180mm
 1/2頁 天地125mm×左右180mm
 雑誌寸法 天地297mm×左右210mm

■問合せ・お申込み先

〒169-0073 東京都新宿区百人町2-21-27
 アドコム・メディア(株) (Tel/Fax/E-mailは下に記載)

*原稿制作が必要な場合には別途実費申し受けます。
 *同封のサイズ・割引の詳細についてはお問合せください。

掲載広告の資料請求

掲載広告の詳しい資料をご希望の方は、ご希望の会社名にチェック☑を入れ、送付希望先をご記入の上、Faxにて（またはE-mailにて必要事項を記入の上）アドコム・メディア(株)宛にご請求ください。

■「情報処理」55巻4号 掲載広告（五十音順）

インタフェース …………… 表4 日経BP社 …………… 同封
 電子情報通信学会 …………… 表2対向上

すべての会社を希望

■資料送付先

フリガナ
お名前 _____

勤務先 _____ 所属部署 _____

所在地 (〒 _____) _____

TEL (_____) _____ - _____ FAX (_____) _____

ご専門の分野 _____



お問合せ・お申込み・資料請求は

広告総代理店 **アドコム・メディア(株)**

Tel.03-3367-0571 Fax.03-3368-1519 E-mail: sales@adcom-media.co.jp



賛助会員のご紹介

本会をご支援いただいております賛助会員をご紹介します。

Web サイト (<http://www.ipsj.or.jp/annai/aboutipsj/sanjo.html>) 「賛助会員一覧」のページからも
各社へリンクサービスを行っておりますので、ぜひご覧ください。

照会先 情報処理学会 会員サービス部門 E-mail: mem@ipsj.or.jp Tel.(03)3518-8370

●●● 賛助会員 (51口～)

HITACHI

Inspire the Next

(株) 日立製作所

●●● 賛助会員 (20～50口)

FUJITSU

富士通 (株)

NEC

日本電気 (株)

MITSUBISHI

Changes for the Better

三菱電機 (株)

TOSHIBA

(株) 東芝

IBM

日本アイ・ビー・エム (株)

●●● 賛助会員 (10～19口)

Google

グーグル (株)

GREE

GREE (株)

docomo

(株) NTT ドコモ

NTT

日本電信電話 (株)

Microsoft

日本マイクロソフト (株)

●●● 賛助会員 (3～9口)

NTT data

NTT データ (株)



NTTコムウェア

NTT コムウェア (株)

OKI

沖電気工業 (株)

楽天

楽天 (株)

JISA

情報サービス産業協会

uejima

(株) うえじま企画

SANBI

三美印刷 (株)

SONY

ソニー (株)

Panasonic

ideas for life

パナソニック (株)

Plat'Home

ぶらっとホーム (株)